

# フェスティバルゲート公共利用案提案競技

## ア 公共利用案説明書

## 目次

### (ア) 事業を行うにあたっての基本的な考え方と事業計画

- 2 1. 事業名と目的
- 3 2. 本事業の全体像に関する説明
- 10 3. 当事業の目的と理念
- 11 4. 公益事業に関する具体的説明
- 23 5. 収益事業に関する具体的説明
- 24 6. 事業運営体制

### (イ) 施設運営計画

- 29 1. 建物の活用および運営に関する基本的な考え方
- 33 2. 施設運営体制
- 34 3. 周辺環境との調和に対する考え方
- 35 4. 施設の活用計画

### (ウ) 事業スケジュール

- 37 1. 区画内装工事の施工開始時期および施工期間
- 2. 公益および収益事業開始時期

38 今後検討していきたい課題

39 まとめ

## 1. 事業名と目的

事業名：

# アート&ソーシャル・インクルージョン 創造的公益事業モデル創出事業

目的：

本提案は、アートの力を最大限に活用し、フェスティバルゲートを市民主体の実践の場として拠点化、さまざまなプロジェクトの実現を通じ、官民協働に向けた創造的公益事業モデルが創出（インキュベーション）されるような環境づくりを目的とします。近い将来、この場から創出されるさまざまなモデル群は、大阪市全域の都市問題の解決に寄与します。



## 2. 本事業の全体像に関する説明

### (1) 沿革：これまでの実績

私たちはこれまでの5年間、大阪市の芸術文化振興施策「新世界アーツパーク事業」の民間パートナーとして、フェスティバルゲートを拠点に、他の3つのアートNPOと連携、隣接する新世界・日本橋・西成地域と共にさまざまな取り組みを行ってきました。

- ・約40年間、途絶えていた新世界盆踊りを復活
- ・地域の聴き取りを行い作品化、価値を再発見するプロジェクトの実施
- ・ホームレス問題への取り組み
- ・生活保護受給者の表現活動による社会参画マネジメント
- ・日本橋のにぎわいづくりへの参加
- ・地域のこどもたち／高齢者とのワークショップの実施

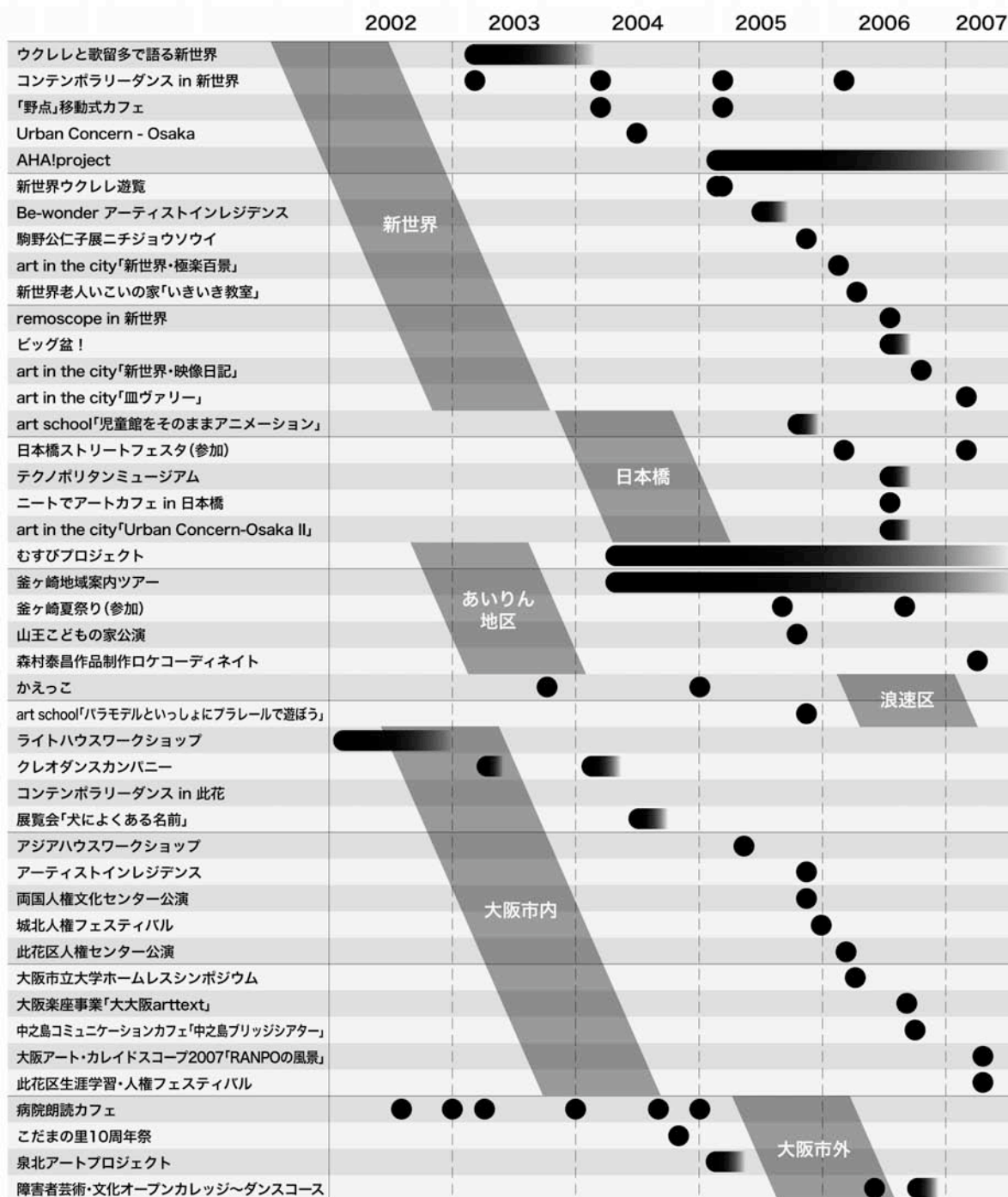
など、アートの力を最大限応用し、地域を活性化、問題解決に取り組み、のにぎわいづくりに貢献してきました。また、その他のさまざまな先駆的アートの実践により、国内外からも多くの視察見学者が訪れ、高い評価を受けた実績があります。



図：これまで招聘した海外のアーティストとエリア

● 地域に関わるプロジェクトの実績

- ・フェスティバルゲート外でおこなった主な事業を掲げた。
- ・「新世界」「日本橋」「あいりん地区」での事業は、その周辺を含む場合もある。



表：地域におけるこれまでの取り組み

## (2) 地域がおかれる状況把握と問題意識

### a. 日本の社会状況

現在の日本は、社会情勢が経済の回復に伴って安定するという目論見が崩れた状態にあります。21世紀に入り、経済格差はさらに拡大し、生活保護世帯やワーキング・プアの増加、貧困層の増加、不安定就労や雇用問題の深刻化に向かい、さらには少子高齢化問題も未だ解決の見込みはなく、子どものいじめなど教育現場においても多くの問題を抱えています。これらの解決策のひとつに、地域における人材の開発・育成と、問題を解決していく機会を網の目のように張り巡らせる地域の人的ネットワークづくりとコミュニティ再生があげられます。

### b. 官民協働の必要性と人材育成

同時に、社会の多様化が進む現在、国や地方行政では担いきれない公共サービスの数々をNPOなどの民間セクターが担っていく重要性が指摘されています。その際、連携をはかる上で、官民協働のためのコミュニケーション能力を備えた新たな人材像「地域公共人材」の育成が急務となっています。市民自らの力で自らの問題を解決し、地域の活力を取り戻す人材は地域に眠っており、きっかけづくりを行い掘り起こさなくては発見・育成することはできません。

### c. 大阪府がめざす創造都市に不可欠な「新しい公共性」

また、大阪府が発表した『創造都市戦略ver.1.0』でも、公共サービスの新たな担い手としての民間セクターの活性化が謳われており、「人に着目した取り組み」「市民の智恵・知識を結集した取り組み」が基本的視点として定められています。これからの「公共」は民間の非営利団体（NPO）、企業の社会貢献部門（CSR）、地域公共人材と行政の協働により、文化芸術が持つ創造的なパワーを活かした社会的包摂を果たす創造都市を推進していきます。様々な立場が積極的に関与する「新しい公共」が活発化するまちでは、豊かな市民生活と安全で活気のあるまちとして国際的な集客を集める都市へと転換します。

### d. 周辺地域に集積する社会問題

上記を踏まえ、これまでの5年間を振り返ると、私たちはフェスティバルゲートでのアート活動を通じて、地域社会が持つさまざまな問題に関わりました。周辺地域には、貧困や少子高齢化などの人権問題・生活問題、商店街の空洞化などの商業・産業問題、さらには治安問題などの都市型問題が集積していることを知り、この地域こそがソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の実現に向けた取り組みを最も推進すべき地域であると考えてきました。アートNPOのみならず、多くの社会的企業、NPO、地域公共人材、行政との協働を必要としています。

### ①新世界地域

串カツブームなどで新規の飲食店が増え、活況を呈しているように見えますが、実際には串カツ店舗と地域との交流が少なく、商店街として栄えてきた街の文化が失われつつあります。高齢化した独居単身者の問題、デイサービスセンターなどの不足、少子化の問題も顕著になってきました。まちづくりに取り組み始めた地元若手たちによるホームページの開設、マップづくりなどが行われています。

### ②日本橋電気街

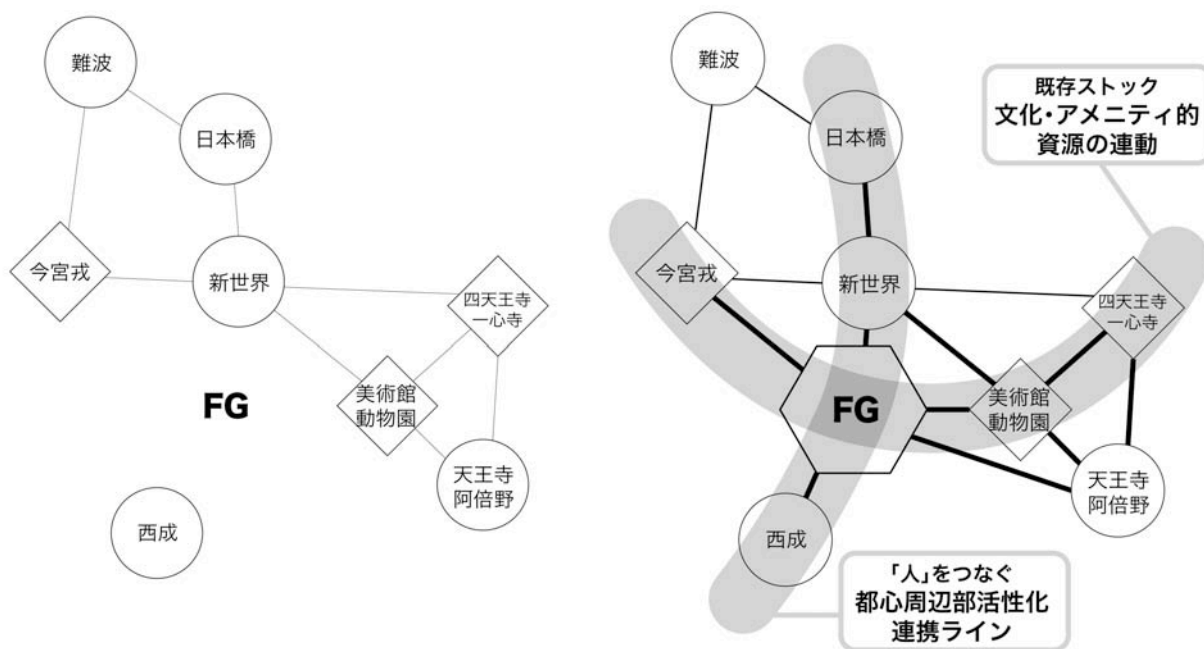
大型電気店の他地域出店などにより、「電気のみち」として培ってきた文化が衰退し始めています。また市立日本橋小学校は全校生徒53人となり少子化に拍車がかかっています。転機を向かえた地元商店主らが中心となり「日本橋ストリート・フェスタ」の実施、「CGアニメ村」としてコンテンツ産業インキュベーションオフィスを開設、企業誘致に取り組んでいます。

### ③西成・あいりん地域

フェスティバルゲート南側に隣接する同地域では、労働者の高齢化が進み、野宿者と生活保護受給者の孤立が問題となっています。障がいを持つ人は全国平均の2倍とされ、障がいを持つ人の生活問題、就労問題も課題としてあげられます。また「大阪府簡易宿泊所生活衛生同業組合」によるバイリンガルのリーフレット配布など、観光客誘致・サービスがはかられ、外国人観光客を呼び込んだ簡易宿泊施設では外国人が年間4万泊しています。ところが周辺には両替機能を持つ銀行や旅行代理店、市内観光案内所がなく、ホスピタリティに欠けているため、大阪はただ素通りの場所となっています。

### (3) フェスティバルゲートにおける「活動拠点」としての可能性

上記の通り、フェスティバルゲートの周辺地域は都市型の社会問題が集積していますが、同時にさまざまな取り組みも始まっており、芽吹きも間近です。ところが、それらの諸活動をつなぎ、集積し、さらに発展させる場や機会がありません。日本橋、新世界、西成地区が連携するには至っていない現状があります。3つの地域のほぼ中心にあたる場所に立地するのがフェスティバルゲートであり、交通至便であることから拠点として申し分ありません。本事業では、フェスティバルゲートを市民参加型のアート・生活文化拠点として活用します。さらには、市立動物園や市立美術館などの文化資源である既存ストックとつなぎ、難波や天王寺・阿倍野、上町台地に至る都心周辺部のラインを顕在化させ、大阪都心南部「ディープ・サウス」エリアのにぎわいづくりに寄与する可能性に満ちています。



図：フェスティバルゲートは、地域の結節点



#### (4) 事業概要

創造的・社会問題解決型事業モデル創出拠点＝新フェスティバルゲート  
本提案は、テナントビルの運用だけではない、  
ソフトを重視したプランです。

##### a. 創造的公益事業インキュベーション

公益性が高く、創造的な取り組みを行う社会的企業、非営利団体、個人を誘致し、公共性のある活動の拠点化をはかります。

##### b. 育成型プロジェクト（大きなプロジェクト）の実施

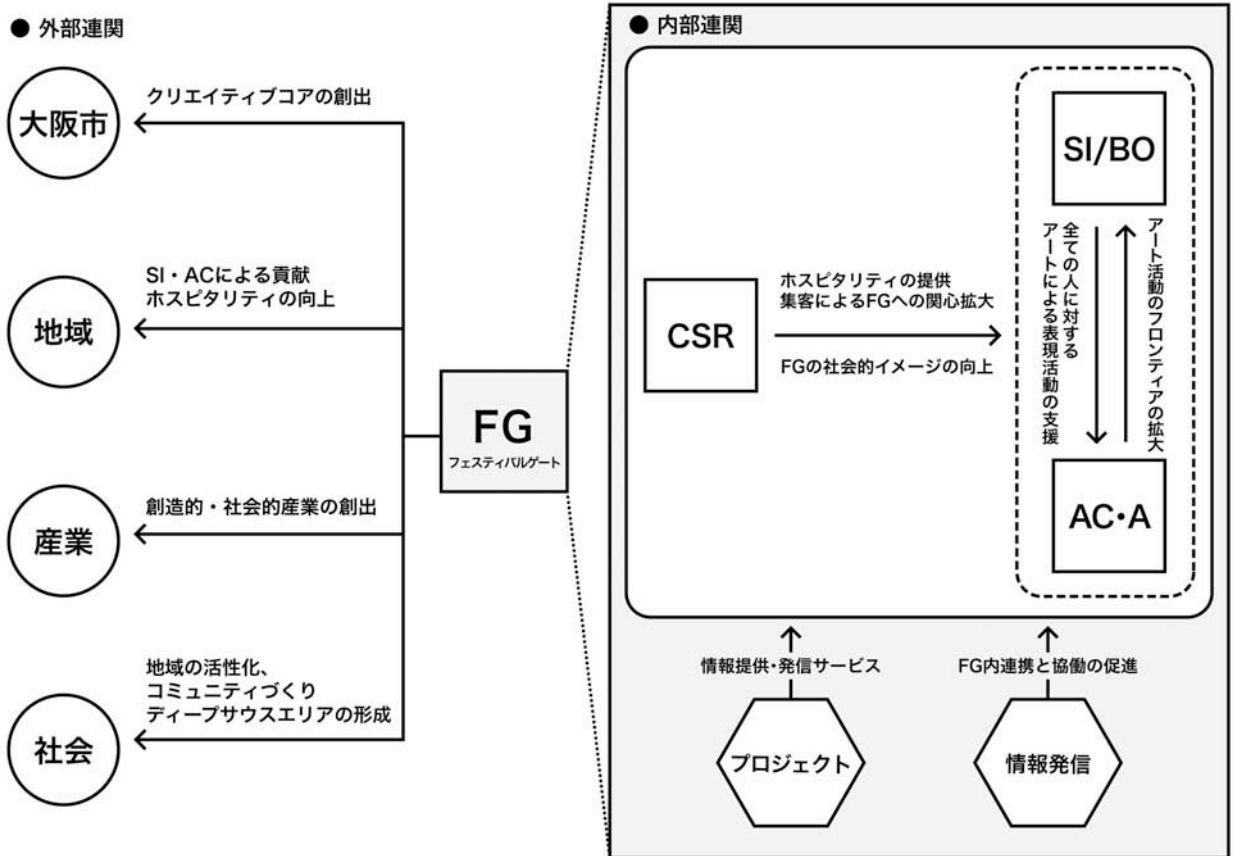
アートで培った高度なマネジメント・スキルと創造的手法を用い、ソーシャル・インクルージョンの理念のもと、諸活動や地域のみならず、すべてのステークホルダー（利害関係者）を巻き込む（スピン・イン）育成型プロジェクトを重層的に実施します。

##### c. サービス型公共財の創出

クラスター化されたプロジェクト群はそれぞれに公共事業モデルとして発展・認識され、官民協働の機会と経験を経て、周辺地域に留まらないサービス型の新たな公共財の創出へと発展していきます。

#### d. 内部連関と外部連関

諸活動は育成型プロジェクトへの参画を通じ、実力を得て、自立性を持つプロジェクトへと発展します。フェスティバルゲート内の他分野の諸活動と相互扶助、影響を受け合いつつクラスター化されたプロジェクトは、散々に外部へとスピナウトしていきます。この運動によって、創造都市に最も重要な「クリエイティブ・コア」が発生します。



### 3. 当事業の目的と理念

#### **目的：**

本事業は、インクルーシブ・ソサエティ（包摂的社会）の実現を目指し、フェスティバルゲート周辺地域に集積する都市型社会問題をリソース（資源）と捉え、これらを解決する意欲と創造性を備えた創造的・地域公共人材を育成し、多くの社会問題解決モデルを産み出すことのできる環境づくりを目的とします。

#### **理念：**

人間の創造性を引き出す力としてのアートを縦軸に、社会の多様な価値を認める品位ある精神を横軸とし、現代社会の諸状況に積極的に関与、実践を通じ得た智慧を次世代へつなぎ、調和に基づく確かな未来のために活動します。

#### 4. 公益事業に関する具体的説明

ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）を実践していくNPOと、創造都市のコアを形成するアートNPOが、2つの柱。

経験値の高い「リーディングNPO」と、立ち上げ間もないNPOが同居することによってノウハウを共有し、NPOの成長を促進。

市民を巻き込む多彩なプロジェクトの実施とエリアの魅力と、成果としてのモデルを伝播する、広報媒体を発行します。

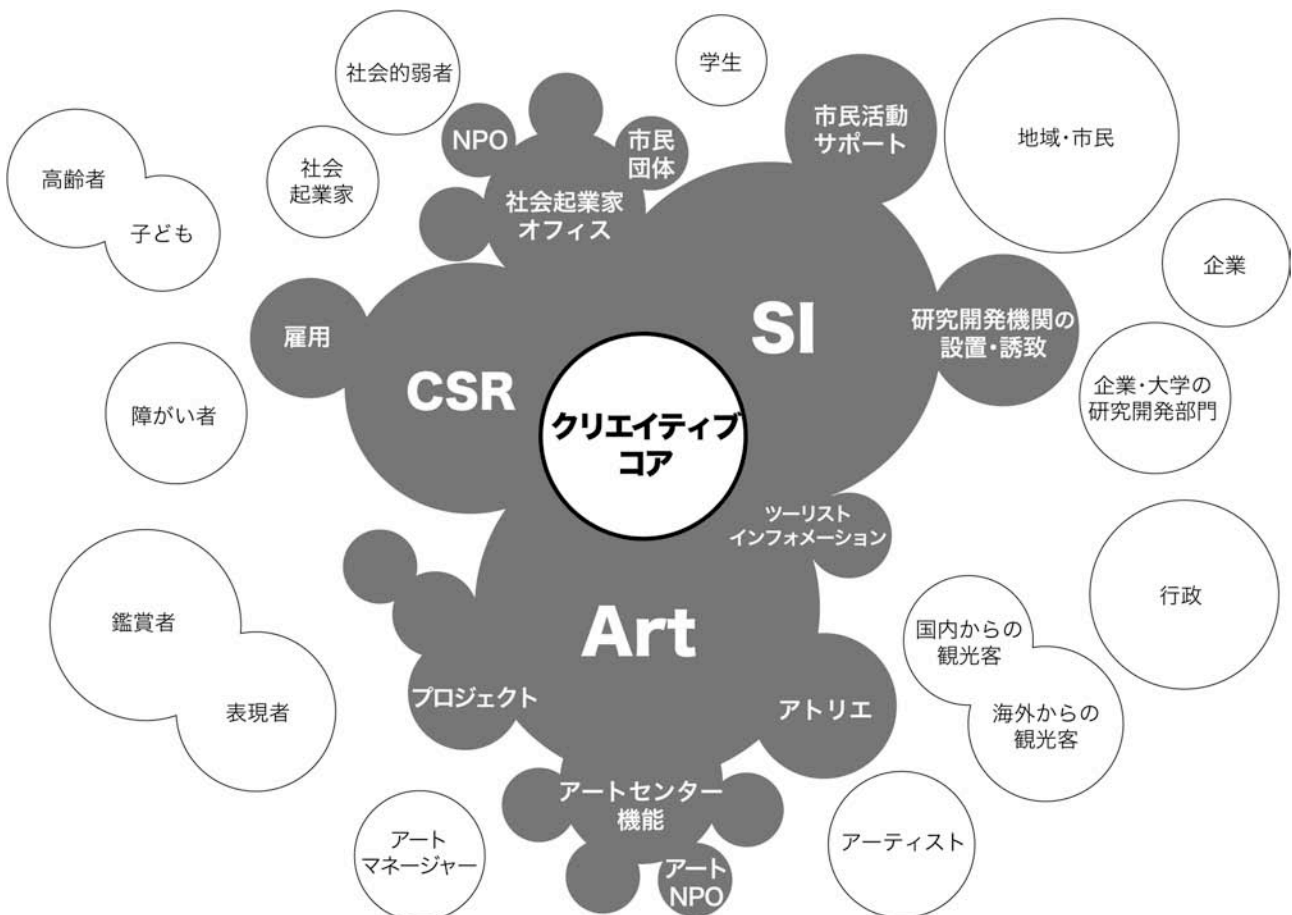
市民主体によるクリエイティブ・コアの創出を経て、創造都市の実現を目指します。

## (1) 事業の主たる対象

本事業は基本的な対象を、前述の理念と目的に沿った

- ◎公益性を有する活動を行う団体、個人
- ◎アートにまつわる活動を行う団体、個人

とします。また、それらは入居が確定することによって本事業の協働者となります。本事業ではその対象を市場における消費者（利用者）とするのではなく、インクルーシブ・ソサエティ（包摂的社会）の実現に向けてのステークホルダー（利害関係者）として捉えます。フェスティバルゲートを拠点とし活動する人々、その利用者、訪問者、さらには地域住民、観光客までをステークホルダー（利害関係者）として捉え、その関わり方を利用者、実践者など自在に変えながら参画可能な構造を持つ施設運営を構想します。



図：本事業とステークホルダー

## (2) 事業内容

- a. ソーシャル・インクルージョン事業 SI事業
- b. アート・センター事業 AC事業
- c. プロジェクト推進事業
- d. CSR推進事業
- e. 情報発信事業

### a. ソーシャル・インクルージョン事業 **SI事業**

理念と目的に沿った公益性を有する活動を行う団体、個人（NPOなど）に対し、区画を低価格で賃貸し、その活動を支援します。また事業展開に関するアドバイスやサポートなどの事業も合わせて行います。比較的面積の小さい区画を「SIオフィス」、また広い区画をブースで区切り、複数の団体が入居する「ブースオフィス」として使用し、活動の種類・内容・目的に応じ入居区画を選んでいただきます。他の入居団体を牽引するような活動を行っている団体に対しては「評議会」（P25 運営体制図参照）によって「リーディング団体」の認定を受け、家賃免除などの特典を用意します。立ち上げ期の団体や事業拡張期にある団体の集積によって、知識や経験を共有し、より実践的な活動を行うNPO・社会企業・社会起業家が重層的に育成されます。

#### ① SIオフィス

家賃：1,000円／平米（別途、水光熱費）

面積：35.02～70.70平米

＊事業内容によって、これよりも広い区画を提供する場合もある

＊ 事業拡張期にある団体向け区画。309～312区画などを想定

#### ② ブースオフィス

家賃：1,000円／平米（別途、水光熱費）

面積：平均15平方平米

＊ 立ち上げ期にある団体向け区画。202区画および329区画を想定

プラン「NPO屋台村」：329区画は、下図のようなブースオフィスを想定。これらは、建築家の設計によりワークショップ形式で施工。材料費のみの平米単価1万円以下で可能。



「NPO屋台村」 施工イメージ

### ③ SI事業におけるリーディング団体認定

リーディング団体の認定を受ける最低限の要件として、

- ・ オフィス使用だけの用途に留まらず、市民に開かれた場所として入居区画を使用すること。
- ・ 2Fイベント広場や周辺地域に赴いて、市民参加型の企画、または国際的なシンポジウムなどの事業を、年1つ以上立案し、実施すること。
- ・ 他の入居団体 / 個人に対し、活動アドバイスをを行うこと。

といった要件を満たしている団体とします。

上記要件を満たすにはかなりの負荷・責任がかかることから、活動支援として家賃免除を適用します。(但し、水光熱費は一部負担)

現時点で、**SI事業**として入居を希望する事業者

- ・ エイブルアート・ミュージアム（財団法人たんぽぽの家が計画している、障がい者が創るアート作品の美術館）
- ・ NPO法人 ふくてっく（福祉の観点から住環境を考えるNPO）
- ・ NPO法人 ヘルスサポートセンター大阪
- ・ NPO法人 MASH大阪（HIV・性感染症問題に取り組むNPO）
- ・ NPO法人 ココペリ121（ヘルパー派遣NPO）など

## b. アート・センター事業 **AC事業**

アート（芸術・文化）を社会へと繋ぐ役割を持つアート系NPOなどの団体に対し、区画を低価格で賃貸することにより、市民がアート（芸術）の術を活用しやすい環境を醸成します。すでにフェスティバルゲートで活動するNPO（事業主体であるNPOこえとことばとこころの部屋と、NPOダンスボックス、NPO記録と表現とメディアのための組織）を核とし、さらにアート系NPOを誘致します。レストラン跡など比較的広い区画は「アートスペース」として演奏会・公演など発表の場として活用します。また、3Fインナーモールを「アトリエ」として低価格で貸し出し、若いアーティストたちの作品制作の場としていきます。他の入居団体を牽引するような活動を行っている団体に対しては「評議会」（P25 運営体制図参照）によって「リーディング団体」の認定を受け、家賃免除などの特典を用意します。

創造的人材が集積し、互いに切磋琢磨することのできる場、またネットワーク構築の場、アートの力を活かす活動を展開します。

### ① アートスペース

家賃 1,000円／平米（別途、水光熱費）

面積 35.99平米～（その活動内容に合わせ、区画をマッチング）

- ・アート系NPOが入居し運営することを想定。
- ・観客への情報提供や作品の販売、展覧会、公演、演奏会、さらには練習場といった活動支援的なものから、劇団・楽団の事務所といった実演家団体の拠点など、さまざまな使用形態が期待されます。

### ② アトリエ

家賃 500円／平米（別途、水光熱費）

面積 平均20平米

- ・アーティストの工房・制作場所。若手または個人向き。
- ・3Fインナーモールを想定。照明、電源および消防設備の他には、壁など特に設けず、床にペンキで使用区分を示す程度。複数の区分を使用することも可能とします。水光熱費は入居者数（使用区分数）で均等割します。

### ③ アート・センター事業におけるリーディング団体認定

リーディング団体として認定を受ける最低限の要件として、

- ・オフィスやアトリエとしてだけの用途に留まらず、市民に開かれた場所として入居区画を使用すること。
- ・2Fイベント広場や周辺地域に赴いて、市民参加型の企画、または国際的なシンポジウムやフェスティバルなどの事業を年ひとつ以上立案し、実施すること。
- ・他の入居団体 / 個人に対し、活動アドバイスをを行うこと。



といった要件を満たしている団体とします。

上記要件を満たすにはかなりの負荷・責任がかかることから、活動支援のために家賃免除を適用します。(但し、水光熱費は一部負担)

現時点で、**AC事業**として入居を希望する事業体

- ・ アートクラフトマーケット（アート系クラフト作品を創るアーティストの交流の場と直売店）
- ・ アート&テクノロジー研究所（仏・ヴァルドワーズ県のアートセンター「アングァン・レ・バン」と提携した教育開発機関）
- ・ アートNPOリンク大阪事務局 など

### c, **プロジェクト推進事業**

事業から得た賃貸収入を基金に、**主催企画**として市民が参加できる育成型プロジェクトを実施。その他にも、**SI事業**および**AC事業**の入居団体から提案される**協働企画**、また外部団体によって実施される**協力企画**といった、大小さまざまなプロジェクトに対し、アドバイスやコーディネート、サポートを行っていきます。これにより、ひとりでも多くの市民が利用できる／実践できる機会を増やすよう、積極的に市民参画を促進します。

#### **予定するプロジェクト一覧（すべて仮称）**

##### ①「新世界アートデカーレ 2010」

3年間のすべての事業の総括として、フェスティバルゲートを拠点に国際的な現代アートのフェスティバルを開催します。新世界、日本橋、西成など周辺地域の公共スペースも活用して実施する市民参加型のアートの祭典です。08、09年にはプレイベントを行います。

##### ②「ビッグ盆！」

フェスティバルゲート内にやぐらを組み、アーティストと新世界の小学生たちが創作した『新・世界音頭』と、地域に伝わる『新世界小唄』などを踊る盆踊りを開催します。また、新世界や日本橋商店街でも様々なアートプロジェクトを同時展開します。

##### ③「市民市場」

フェスティバルゲート内の様々なセクターで生み出された製品・作品・発明品などの出品をはじめ、ひろく市民が露店を並べる市民市場を行います。会場では音楽やダンスなどのパフォーマンスも繰り広げられます。

#### ④「市民収穫祭」

毎月開催する市民市場の集大成として、年1回市民収穫祭を開催します。市民市場に出店した様々な人たち、NPO屋台村、アーティストなど様々な人々が参加し、インクルーシブデザイン・ワークショップや子どもプロジェクトの中で作られた製品の見本市としても機能します。

#### ⑤「国際交流フェスティバル」

日本在住・在留の外国人を集い、芸能、料理、民族衣装、スポーツなど様々な視点から相互理解と交流を育むフェスティバルを開催します。異文化体験ワークショップや世界各国のパフォーマンス、デモンストレーションなどを行います。

#### ⑥「子どもプロジェクト」

子どもたちが主体となり自分たちのスペースを作り出し、運営するプロジェクトです。「新世界アートデカーレ2010」では、このプロジェクトに関わった子どもたちが子どもアートフェスティバルを企画します。

#### ⑦「アーティスト・イン・レジデンス@フェスゲ」

様々なジャンル（パフォーミングアーツ、美術、メディアアート、音楽等）のアーティストが一定の期間フェスティバルゲートに滞在して、地元のアーティスト及び一般市民と共同して作品制作するプロジェクトです。

#### ⑧「新世界市民劇団」

新世界地域周辺の高齢者を中心に幅広い世代に参加を呼びかけ、市民劇団を発足します。市民劇を通じた異世代の交流による豊かなコミュニティづくりを目指し、様々な地域での公演を行います。「新世界アートデカーレ2010」での大規模な公演に向けても準備を進めます。

#### d. CSR推進事業

フェスティバルゲートへの出店そのものを企業のCSR（社会貢献）とみなし、出店したその家賃はすべて公益事業の運営費に運用します。また出店企業に対し、SI事業から障害者雇用のコーディネイトを行い、企業の社会貢献を促進します。

#### ◎本提案における現行テナントの取り扱い

「新世界アーツパーク事業」参画団体の内、2法人2区画「Art Theater dB」「remo」は、残留交渉済み。その他、現在入居中の「モスバーガー」「サンクス」「大阪プロレス」「new OSK 日本歌劇団」の4店舗も残留を希望されていることにより、本提案採択後、個別に条件を擦り合わせした上で、営業継続を可能とします。

#### ◎ その他、CSR推進事業への協力および参画をすでにお申し出いただいている事業体

##### ①営利的テナント：アサヒビール株式会社 近畿圏本部

本提案採択後、入居飲食店のコーディネイトを担当

##### ②教育機関：大阪市立大学

都市研究プラザの設置（グローバルCOEプログラム申請中）

#### e. 情報発信事業

フェスティバルゲート内で展開される活動やエリアの魅力を紹介するための、新聞（フリーペーパー）を発行します。またアクセシビリティ確保のためにウェブ・サイトの企画運営。他言語を使用したリーフレットを作成、実際に訪れる外国人へのホスピタリティを高め、海外への周知も図ります。

#### f. 事務局直轄スペース

貸し集会室を持ち、会議や展覧会など一般に時間貸し業務を行います。

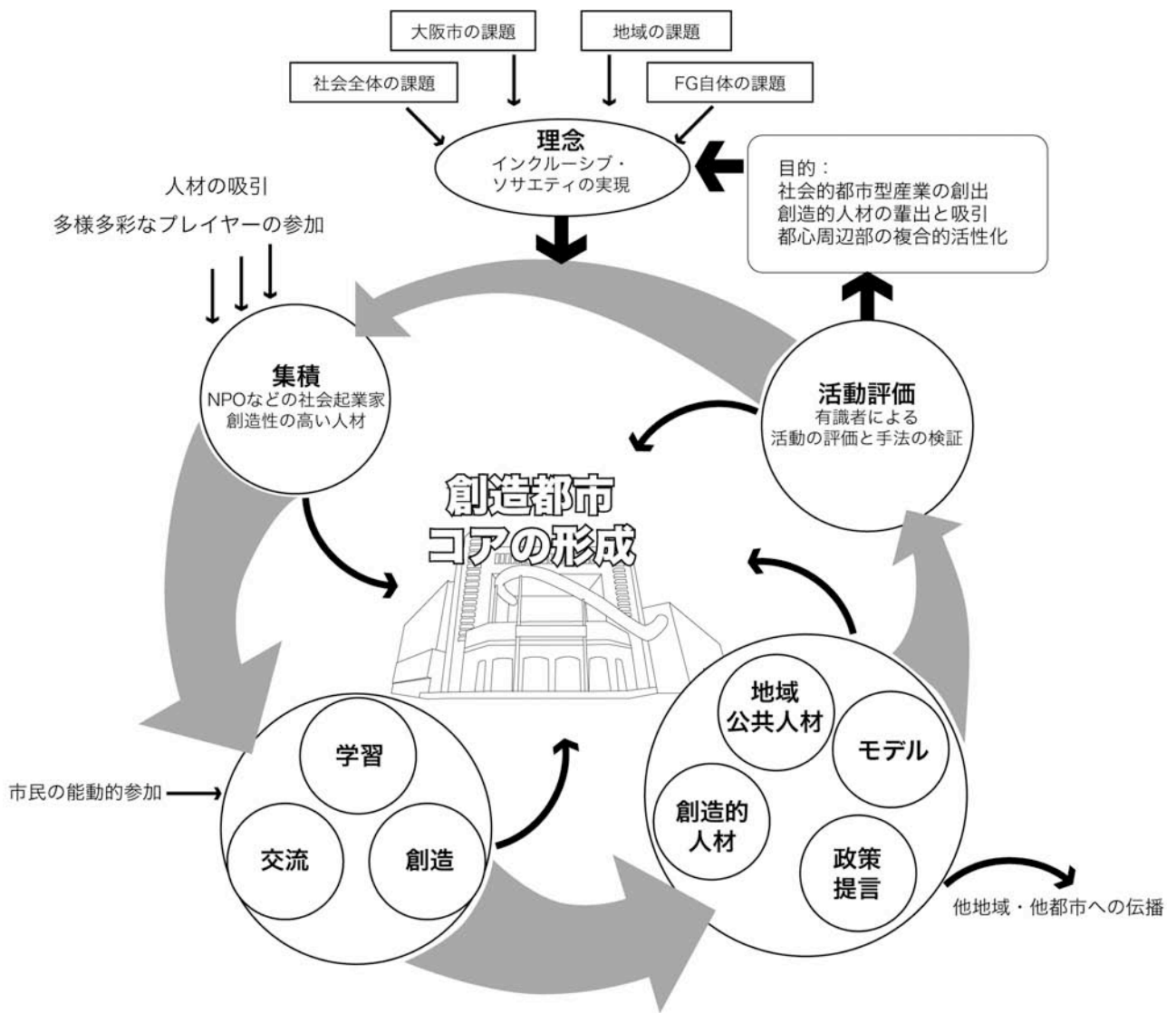
### (3) 事業目標および効果

#### a. 事業目標

- ◎3年間で、行政との協働が可能な事業を数十件、創出することを目指します。
- ◎年を通じ、アート、ソーシャル・インクルージョンそれぞれの趣旨に沿ったイベント、ワークショップ、フォーラムなどを随時開催します。
- ◎3年目に国際的な現代アートフェスティバル「新世界アートデカーレ」を開催します。

#### b. 事業効果

- ◎創造的な地域公共人材の発掘、育成を行います。
- ◎都市型社会問題の創造的解決事例を創出します。
- ◎老若男女を問わない、さまざまな就労機会を提供します。
- ◎新しいコミュニティによる相互扶助環境を形成します。
- ◎周囲の安全に寄与します。
- ◎新世界および日本橋の商店街のにぎわいを創出します。
- ◎国内外からの観光客に対する街のホスピタリティー向上を図ります。
- ◎新産業創出、障がい者の就労機会創出、学生による起業などを促進します。
- ◎産官学民の協働モデルの創出を目指します。
- ◎市民主体による、まちづくりモデルを創出します。
- ◎独自メディアを介し「大阪ディープサウス」エリアを創出、周知を図ります。
- ◎市民主体のクリエイティブコアを創出、創造都市の実現を目指します。



図：事業効果イメージ図

#### (4) 費用に対する考え方

本企画提案における必要な費用は、大きくわけて以下の2点です。

##### A 運営事務局の管理費

##### B 入居環境整備工事及び活動活性化のための事業費

###### Aの内訳……運営事務局の管理費に係る資金調達方法

- ・ CSR推進事業・SI事業・AC事業の家賃収入から充当
- ・ 各種助成金や事業委託収入などからの充当
- ・ 一般CSRや企業メセナ等からの寄付収入から充当
- ・ 事務局直轄事業における事業収入から充当
- ・ 特別フェスティバル等における事業収入から充当

###### Bの内訳……入居環境整備工事及び活動活性化のための事業費に係る資金調達方法

- ・ CSR推進事業・SI事業・AC事業の家賃収入から充当
- ・ 各種助成金や事業委託収入等から充当
- ・ 一般CSRや企業メセナ等からの寄付収入から充当
- ・ 事務局直轄事業における事業収入から充当

##### a. 新フェスティバルゲート基金の運用「NFGF (New Festival Gate Fund)」

事業主体と連携団体の出資により設立される「新フェスティバルゲート基金 (NFGF)」を運用し、本事業を実施します。その後、この基金に広く市民からの寄付を募り、理念と目的に沿った事業に運用します。この基金は、事業終了と同時に解消し、事業主体及び連携団体の出資を返済し、さらなる余剰金は、相当の理念目的に応じた団体へと寄付します。

##### b. 運営費の考え方

事業主体は中間支援組織として、入居する団体・個人の活動支援を行います。そのため事務局機能には、一般的なテナント管理業務の範疇を越えた要素が求められます。これを達成するため、上記「Aの内訳」をもって費用の充当を行います。そして、助成金制度の利用やその他の収益事業の拡充をもって、円滑な運営につなげます。

##### c. 大阪市への利益還元について

本事業は、税法上の「実費弁償方式」による事業委託契約とします。(後述) これにより、本事業における全事業は経理的に公益事業と見なされ、余剰金が出た場合は、大阪市に還付致します。(税務署への届け出の必要があります。)

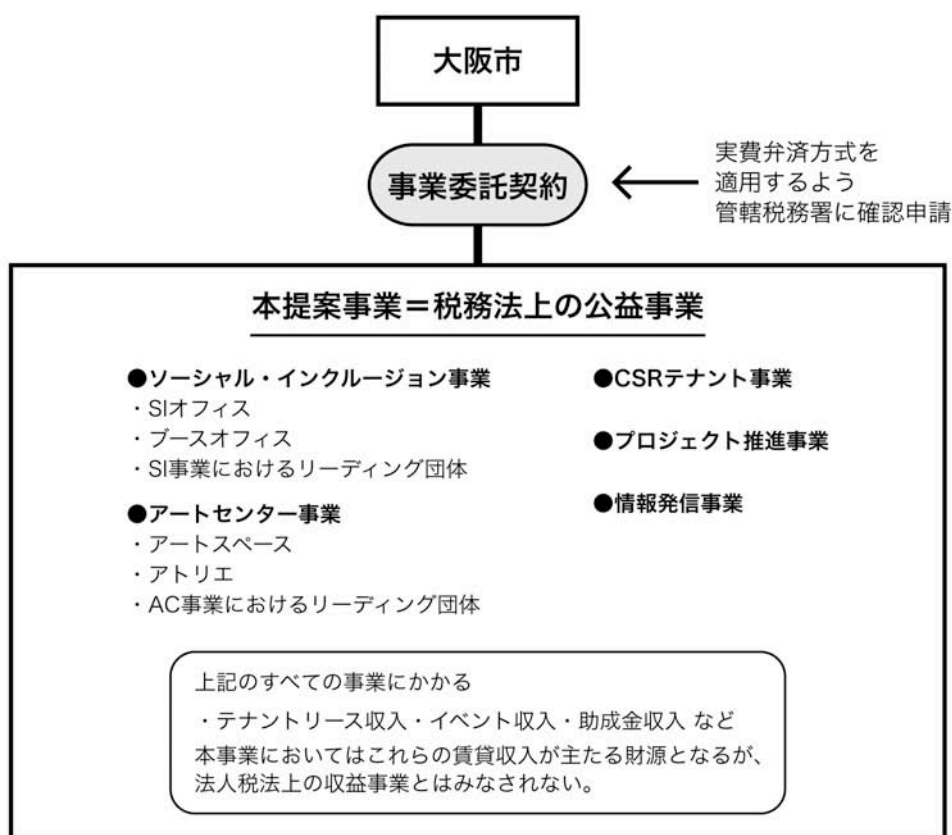
#### d. イニシャルコスト / 区画内装工事について

内装工事が必要な区画については、2007年度から2008年度の2期を3段階にわけ工事を実施します。費用は家賃収入をはじめとした収益から充当します。内装工事は、実績のあるアーティスト・講師のディレクションのもと、建築系の大学や専門学校と協働する実習プロジェクトとして機能させ、学びの場とし、大幅なコストダウンを図ります。

実績：事業主体である当NPOが、フェスティバルゲート409区画において「ココルーム」（現在も営業中）は、2003年に同様の方法で改修工事に取り組み、見積もり額約3500万円の内装工事を約200万円で実施し、人材教育の場となった実績があります。

## 5. 収益事業に関する具体的説明

本事業における「収益事業」を、以下の図のように考えます。



<実費弁償方式>とは、その業務が法令の規定、行政官庁の指導または当該業務に関する規則、規約もしくは契約に基づき、その受ける対価が実費を超えないことが予想される場合で、税務署長の確認を得ることを条件に、収益事業（法人税法上）には該当しないものを言う。（法人税法基本通達15-1-28）

以下、具体的な収益事業案。

### (1) テナントリース

各事業におけるテナント収入。

### (2) プロジェクトによる収入

主催事業実施による入場料収入。

### (3) 事務局直轄スペースリース

貸し集会室を持ち、会議や展覧会など一般に時間貸し業務を行います。

料金設定：65円程度／平米／終日

例) 7700円程度／103平米／終日利用

稼働見込み：0期／1期30%稼働、2期／3期40%稼働

### (4) 助成金収入

各種助成金等収入等



## 6. 事業運営体制

全体の運営を担う「事業推進委員会」とは別に  
外部委員による「評議会」を設置し、  
事業全体の公共性を検証・維持する評価制度を用意します。

事務局の機能は、中間支援です。  
入居者へのアドバイス / サポートを実施していきます。

### (1) 公益事業の運営体制

本提案ではすべての事業を公益事業と捉えます。区画賃貸料が発生する事業もありますが、家賃収入はすべて事業運営費へ繰り入れます。事業全体の公益性を担保することは極めて重要であり、事業全体を運営方針を担う「**事業推進委員会**」とは別に、「**評議会**」を設け、その公益性を維持する仕組みを用意します。「事務局」は、その「**事業推進委員会**」の指示のもと、事業を推進します。(P25 運営体制図参照)

#### a. 事業推進委員会の設置

本事業の運営を円滑に、かつ柔軟に実施していくために、「**事業推進委員会**」を設置します。委員会には、「アート」「ソーシャル・インクルージョン」各分野の専門家を迎え、事業全体の運営に関する的確な判断を行う体制をつくります。

#### b. 評議会の設置

本事業の2つの柱である、「アート」と「ソーシャル・インクルージョン」それぞれの分野の外部有識者で構成される評議会を設置。各事業において公益性が担保されているかなど、実行委員会の全体運営をサポートするよう助言を行う機関とします。またリーディング団体の認定も行います。

#### c. 応援団の設置

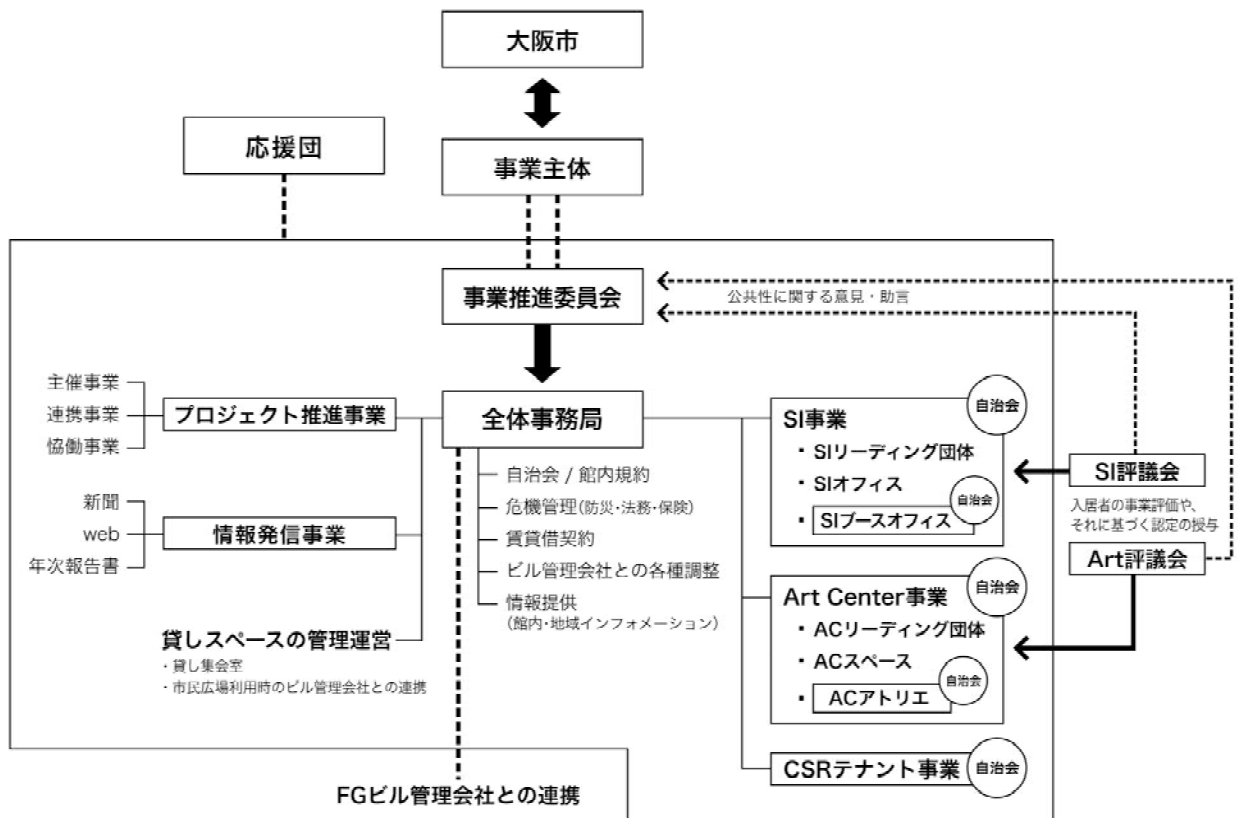
本事業をすすめるにあたり、地域の団体・個人、各分野の有識者、実務者、有志など、本事業の目的と理念に同意する信頼を元とした人的ネットワークの支えが重要です。そのための「**応援団**」を設置し、各地域、各界との強い連携をはかります。

(P39 本事業にかんする団体・個人クレジット参照)

#### d. 全体事務局

事業主体であるNPOに事務局を設置、入居者および利用者の管理およびホスピタリティ向上や、各々の事業推進アドバイス / サポートを実施していきます。

- ①施設概要を周知、入居希望団体を誘致。
- ②入居する団体に対し、必要に応じアドバイスとサポートを実施。
- ③インキュベーターマネージャとして、非営利活動法人の運営経験者を配置（08年4月～）
- ④プロジェクト推進事業実施の際はプロジェクト毎に特命の担当者を置きますが、その者に対しアドバイスと進行管理を行えるよう、アートマネジメント経験者を配置。（07年8月～）
- ⑤すべての事業で発生する経理処理や、契約などを担当。
- ⑥各事業単位で構成される自治会を主催し相互交流を促します。また館内ルール（規約）を整備し、入居者が館内の安全や防災に努めるよう取り決め、それを管理します。
- ⑦フェスティバルゲート、ビル管理会社との各種調整を行います。
- ⑧館内にインフォメーションブースを設置し、館内のホスピタリティの向上を図ります。また、このインフォメーションブースは、地域の情報（観光、文化、宿泊施設など）も取り扱うよう拡充し、地域全体のインフォメーションセンターとなるよう運用します。
- ⑨大阪市との契約、また各区分入居者との契約について、専門家から助言を得るような体制を作ります。



図：運営体制図

## e. 新フェスティバルゲートの営業時間及び運営事務局の営業時間と人員体制について

### ①新フェスティバルゲートの営業時間について

新フェスティバルゲートの営業時間については以下の通り

開館時間/10：00 閉館時間/23：00 定休日なし

◎入居各テナントの休日及びオープン時間については、業態により性格が異なるため、特に問わないが、週5日以上営業日設定、1日8時間以上の営業時間設定に近づけるよう、運営事務局は各テナントにできるだけ指導します。

### ②運営事務局の営業体制について

◎運営事務局の営業時間については以下の通り

始業時間/10：00 終業時間/23：00 定休日なし

◎運営事務局の人員体制

- ・0期（2007年）を専従スタッフ5名と認定NPOからの出向スタッフ2名の7名体制でスタートさせ、次年度以降増員していく。
- ・運営事務局は、定時制とフレックスタイム制を併用したシフト勤務で、2名以上のスタッフが常駐することとし、営業時間中は責任者を配置。
- ・事務局勤務例はP27 事務局勤務シフトイメージ図を参照のこと。

### ③労務

◎専従スタッフ・・・1日8時間/週休2日制/社会保険・労働保険完備

◎特に主任スタッフ及び副主任スタッフは、専門性の高い人員を配置。

◎出向スタッフ・・・認定NPOから出向

#### ●運営事務局勤務例

| 人員   | 主任スタッフA    | 副主任スタッフB    | スタッフC      | スタッフD       | スタッフD       | 認定NPO出向A  | 認定NPO出向B  |
|------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 勤務形態 | 定時制(8h)    | 定時制(8h)     | 定時制(8h)    | 定時制(8h)     | 定時制(8h)     | フレックス(8h) | フレックス(8h) |
| 勤務例  | 9:40~18:40 | 14:40~23:40 | 9:40~18:40 | 14:40~23:40 | 14:40~23:40 |           |           |
| 1    | 月          | ●           | ●          | ●           |             |           | ▲         |
| 2    | 火          | ●           | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 3    | 水          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         |           |
| 4    | 木          |             | ●          | ●           | ●           | ▲         |           |
| 5    | 金          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 6    | 土          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 7    | 日          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 8    | 月          |             | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 9    | 火          | ●           | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 10   | 水          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         |           |
| 11   | 木          |             | ●          | ●           | ●           | ▲         |           |
| 12   | 金          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 13   | 土          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 14   | 日          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 15   | 月          |             | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 16   | 火          | ●           | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 17   | 水          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         |           |
| 18   | 木          |             | ●          | ●           | ●           | ▲         |           |
| 19   | 金          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 20   | 土          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 21   | 日          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 22   | 月          |             | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 23   | 火          | ●           | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 24   | 水          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         |           |
| 25   | 木          |             | ●          | ●           | ●           | ▲         |           |
| 26   | 金          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 27   | 土          | ●           |            | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 28   | 日          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         | ▲         |
| 29   | 月          |             | ●          | ●           | ●           |           | ▲         |
| 30   | 火          | ●           |            | ●           | ●           |           | ▲         |
| 31   | 水          | ●           | ●          | ●           | ●           | ▲         |           |

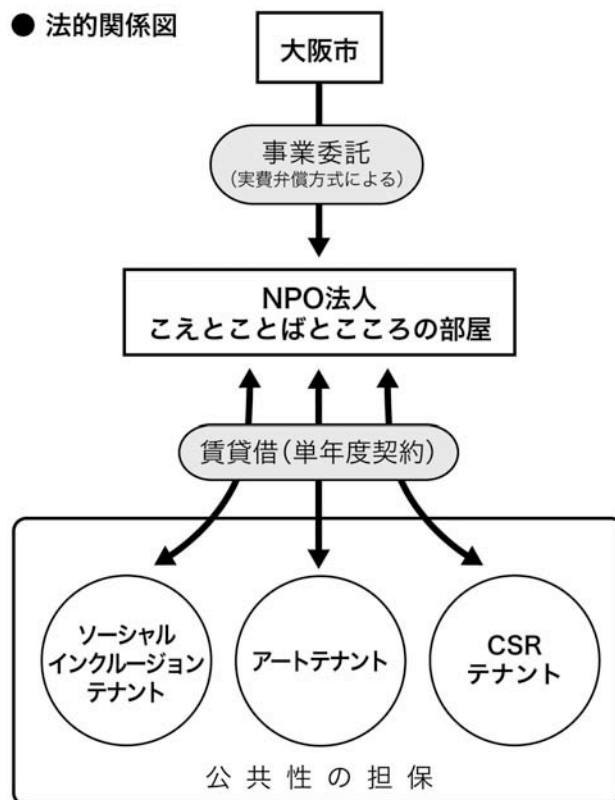
表：0期の事務局勤務シフトイメージ図

### (2) 収益事業の運営体制

基本的には、公益事業の運営体制に準ずるが、テナントリーシング契約時には法律専門家の指導の元、進めることとする。

### (3) 大阪市との法的関係

- a. 大阪市は事業主体に対し、フェスティバルゲート活用に関する運営を委託する。
- b. 事業主体は、物件を活用する。
- c. 事業主体は、すべての業務内容を通じ、公益性の担保に努める。
- d. 大阪市と事業主体の法的関係は、税法上の実費弁償方式による「事業委託」とする。
- e. 使用貸借承認を得た区画内の水光熱費については、全額事業主体が大阪市に対しその使用量に応じ支払いを行う。
- f. 事業主体は各入居者とは、賃貸借契約を締結する。
- g. その期間は1年ごとの更新とする。
- h. この賃貸借により生じた収入は、事業運営費に充当することとする。
- i. 賃貸借、または事業を実施するにあたり、本提案の本来の目的に合致しない使用は行わない。これを担保するため、事業主体は第三者機関（評議会 P25 組織体制図参照）を設置する。
- j. その他、詳細については、本提案が採択された後、大阪市と事業主体によって協議し決定する。



## (イ) 施設運営計画

### 1. 建物の活用および運営に関する基本的な考え方

下層階を中心に展開します。

入居者を増やし、にぎわいをつくることにより、安全性を確保しつつ、徐々に使用する区画を増やしていきます。

できるだけ現状有姿で活用する方法をとり、

内装工事が必要な部分については、

その工事自体を「体験学習の場」として活用しつつ整備します。

上層階などにある広大な区画は、その広さを活かし、

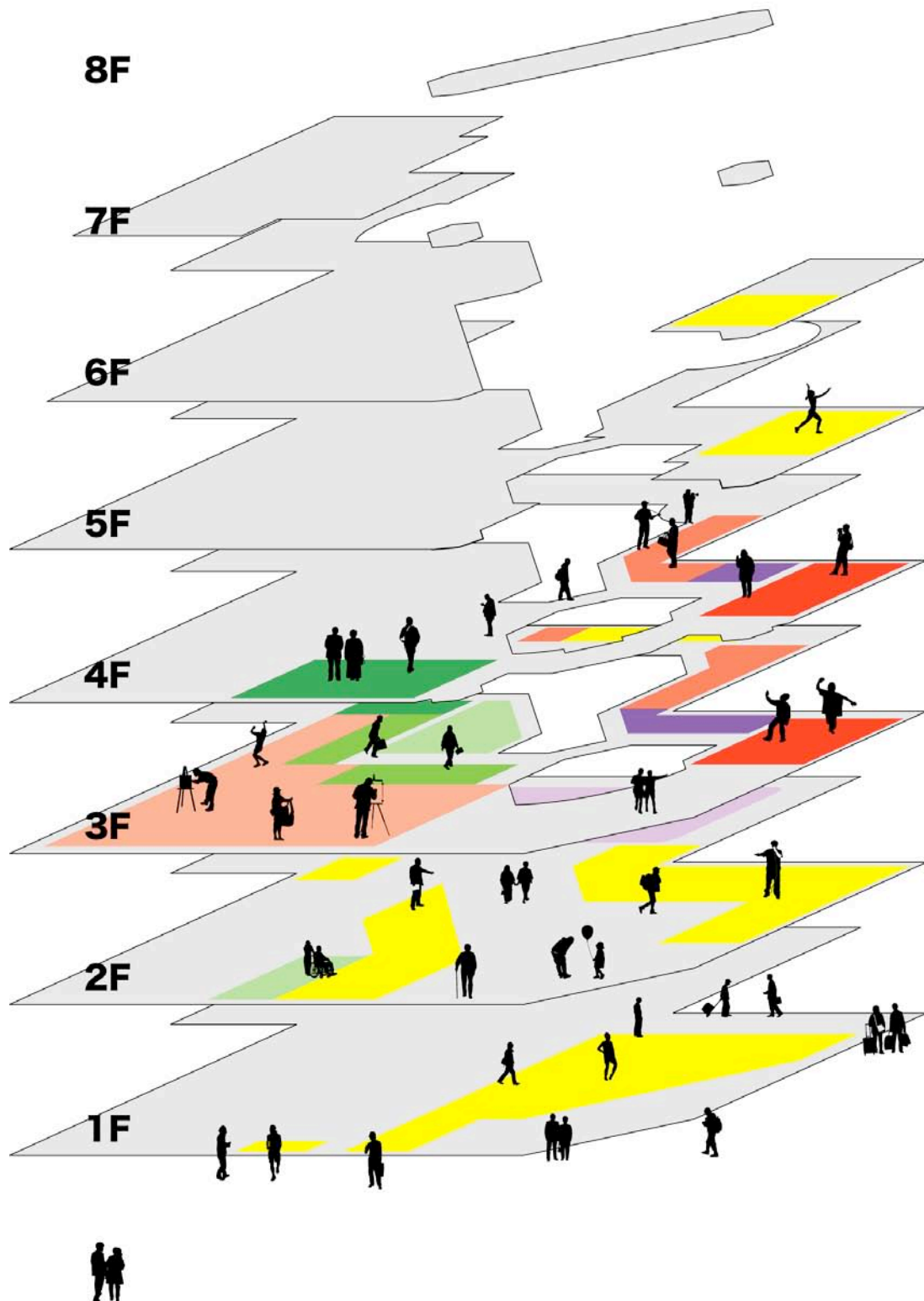
プロジェクト推進事業によって、

柔軟な手法による活用も視野に入れていきます。

比較的小さな区画が多い4階から下の階を中心に活用していきます。施設内の区画が入り組んでいて、共用部分で死角となるところも多いので、当初はメイン通路に面した区画のみを使用します。その後、内装工事などを経て、徐々に使用する部分を拡大。使用区画が増えるごとににぎわいが増し、それによって安全性が確保されるよう、区画活用計画を進めていきたいと考えています。

施設全体を現状有姿のまま活用していくことを基本としていますが、内装工事が必要な区画については、プロジェクト推進事業の中で、建築系の大学・専門学校の実習の場として活用してもらおうコーディネートします。これにより、コストを押さえつつ、にぎわいづくりにも貢献するような仕組みを取り入れます。

さらに、AC事業アトリエで使用する3Fインナーモールについては、入居するアーティストたちに自分たちで作業をしてもらいます。自ら内装を手掛けることにより愛着が生まれ、そこを大切に使う気持ちを誘発するのがねらいです。

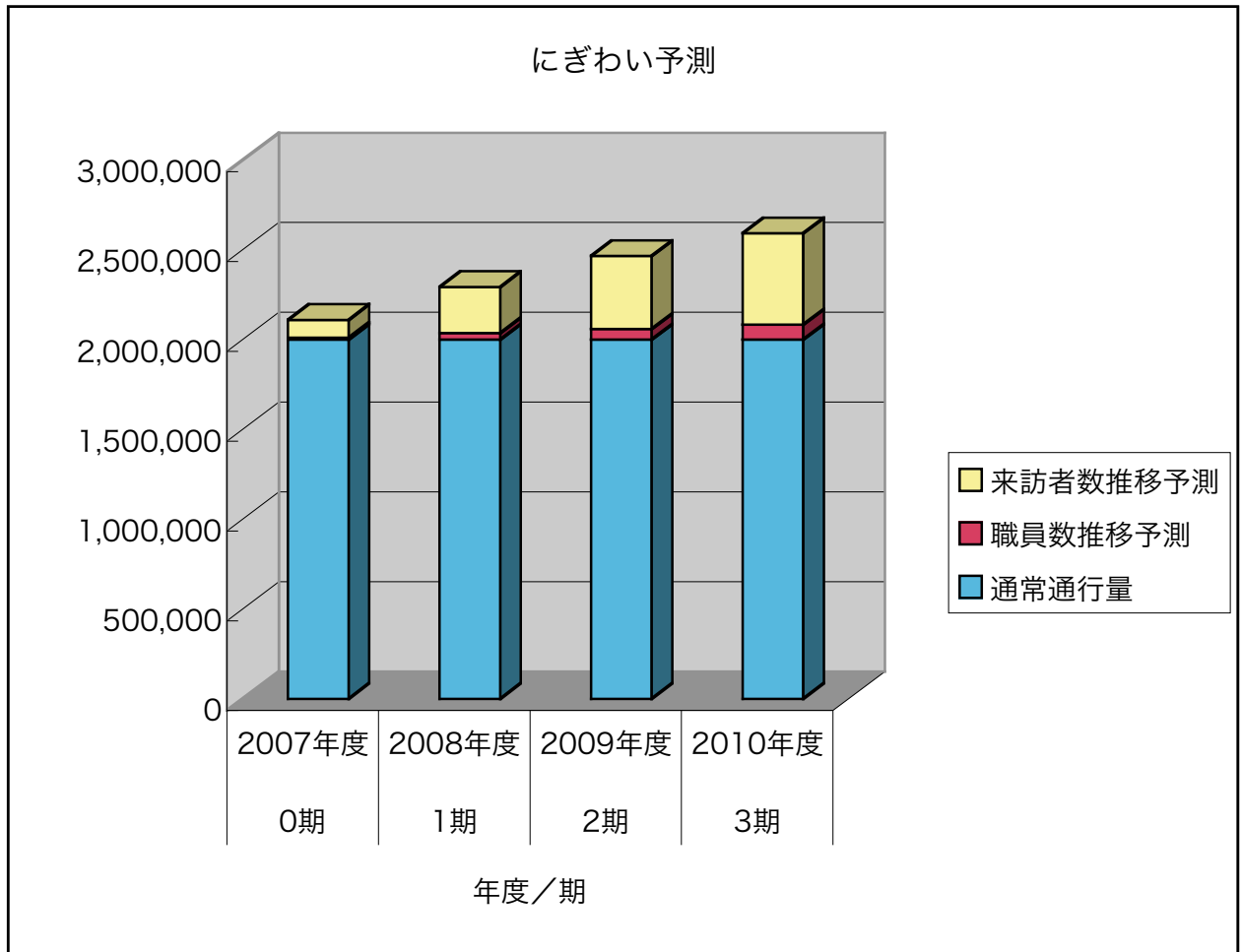


図：区画使用とにぎわいイメージ

1・2Fには、**CSR推進事業**を主に誘致します。

3Fでは、**SI事業**・**AC事業アトリエ**を中心に展開します。

4Fでは、**AC事業**を主に展開します。



根拠 // 職員数 // ※22日/月で算出 ※各区画の職員数はココルームを基準に業態と区画を考慮した

根拠 // 来訪者 // ※26日/月で算出 ※新世界アーツパークの来訪数データをもとに業態と区画を考慮した

|              | 0期        | 1期        | 2期        | 3期        |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              | 2007年度    | 2008年度    | 2009年度    | 2010年度    |
| 通常通行量 (人)    | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 職員数推移予測 (人)  | 11,244    | 36,201    | 59,223    | 82,921    |
| 来訪者数推移予測 (人) | 99,040    | 257,798   | 406,354   | 509,249   |



## (1) 通常使用（賃貸）部分

SI事業・AC事業・CSR推進事業については、いわゆるテナントリーシングと同様の考え方となります。すでにある区画割で一団体に貸し出す形式です。一方、SI事業ブースオフィスとAC事業アトリエについては、現状の区画割をさらに使いやすい面積に区切り、利用を促進します。各事業内で自治会を作り、連絡事項の伝達や、問題点の協議など、入居者相互の交流を図るとともに、自発的に館内環境の向上に取り組むよう促します。

## (2) プロジェクト型活用部分

プロジェクト推進事業は、地域（現場）へ赴くために特定の区画を必要としないものもありますが、企画によっては通常使用部分以外の区画も、期間を区切って使用したいと考えます。プロジェクトが恒常的運営に発展したときは、テナントリーシングに切り替え、SI事業またはAC事業に所属することになります。プロジェクト推進事業は、インキュベートのためのテストランニングの意味をも含んでいます。また、2階イベント広場は、市民広場と位置づけ、プロジェクト推進事業によって実施・誘致される企画を展開し、にぎわいを創出していきます。

## 2. 施設運営体制

全体事務局が施設全体の管理を担当します。  
館内ルール（規則）と、各事業毎に自治会を設け、  
入居者各自が主体的に館内の保全・安全を図るよう指導していきます。

以下の業務を「全体事務局」が担当し、施設全体を統括します。

### （1）契約業務

大阪市との契約、および各入居者との契約を行います。（P22 参照）

### （2）防災

個別の区画を使用する団体については、防火管理責任者を置きます。また、**SI事業**ブースオフィス、**AC事業**アトリエにおいては、全体事務局の事務局長がこれにあたります。

### （3）保険

各入居団体毎に火災保険等の加入を義務づけます。また、プロジェクト等の事業実施の際、状況に応じ、別途、保険の加入に努めます。

### （4）自治会と館内規則の整備

館内規則を作成し、入居団体・個人全員にその遵守を指導します。また、これを著しく逸脱する団体・個人は退去とします。また入居者同士の交流を深め、連絡事項の伝達などを行い、相互に館内の保全・安全をはかるための組織として、各事業毎に自治会を置きます。

### （5）FGビル全体の管理会社との連携

全体事務局は、FGビル全体および共用部分の管理を行う管理会社との連携を図り、館内の安全・保全に努めます。

### 3. 周辺環境との調和に対する考え方

隣接地域を、新しい関係性でつなぎなおし、  
セーフティネットの連動による、安心・安全のまちを目指します。

本提案の基本理念として、「インクルーシブ・ソサエティ（包摂的社会）の実現」を掲げておりますが、これは社会的弱者に対してだけでなく、周辺地域に対しても同様です。隣接地区がそれぞれに違った様相（あるいは問題）を持つため、分断されてきた地域を繋ぎ直すことにより、セーフティネットが連動によって充実し、また結果として地域の安全が向上します。

こうした目標を効果的に推進していくために、本事業の「運営推進委員会」には、隣接地域において「まちづくり」に携わる方にも参画していただき、常に周辺環境とコラボレートを意識していきます。

また私たちは、本提案に至るまでの5年間の活動期間を通じ、地域とのつながり、協働を深めてきました。これらの動きをマスターモデルとし、今後入居してくるNPO等の活動を支援し、それぞれの活動を地域還元していくことで、更なる地域との協調を育んでいきます。それに加え、地域を巻き込んだイベントやアートフェスティバルなどの開催を通じて、フェスティバルゲートが、地域に不可欠な「公共の場所」であるとの認識を高めていくよう努力いたします。

#### 4. 施設の活用計画

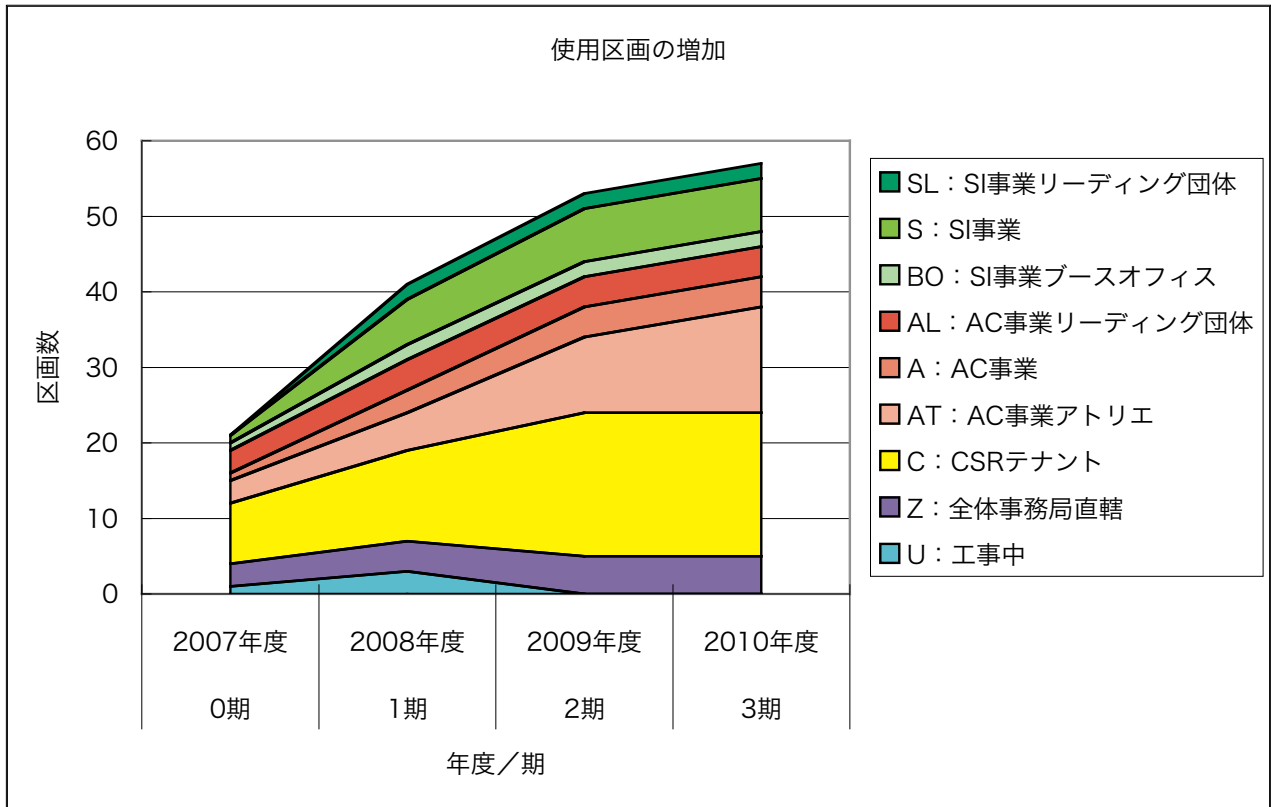
##### (1) 各階の区画構成

◎使用区画面積および区画まとめ

\*アトリエとブースオフィスについては、イ財務計画書では入居者数を元に算出。

面積単位：平米

|                     |     | 0期<br>2007年度 | 1期<br>2008年度 | 2期<br>2009年度 | 3期<br>2010年度 |
|---------------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|
| SL：SI事業<br>リーディング団体 | 面積  | 0            | 582.42       | 582.42       | 582.42       |
|                     | 区画数 | 0            | 2            | 2            | 2            |
| S：SI事業              | 面積  | 65.23        | 281.31       | 318.07       | 318.07       |
|                     | 区画数 | 1            | 6            | 7            | 7            |
| BO：SI事業<br>ブースオフィス  | 面積  | 343.8        | 642.02       | 642.02       | 642.02       |
|                     | 区画数 | 1            | 2            | 2            | 2            |
| AL：AC事業<br>リーディング団体 | 面積  | 674.47       | 800.04       | 800.04       | 800.04       |
|                     | 区画数 | 3            | 4            | 4            | 4            |
| A：AC事業              | 面積  | 49.27        | 162.4        | 250.69       | 250.69       |
|                     | 区画数 | 1            | 3            | 4            | 4            |
| AT：AC事業<br>アトリエ     | 面積  | 490.7        | 750.37       | 1140.21      | 1491.58      |
|                     | 区画数 | 3            | 5            | 10           | 14           |
| C：CSRテナント           | 面積  | 1327.6       | 1919.7       | 2928.78      | 2928.78      |
|                     | 区画数 | 8            | 12           | 19           | 19           |
| Z：全体事務局直轄           | 面積  | 330.8        | 454.98       | 545.86       | 545.86       |
|                     | 区画数 | 3            | 4            | 5            | 5            |
| U：工事中               | 面積  | 298.22       | 215.93       | 0            | 0            |
|                     | 区画数 | 1            | 3            | 0            | 0            |
| 使用区画面積 合計           | 面積  | 3580.09      | 5809.17      | 7208.09      | 7559.46      |
|                     | 区画数 | 18           | 36           | 43           | 43           |



◎全区画の活用状況 (\*省略)

(2) 平面図

◎使用予定区画 平面図 (別紙6参照)

## (ウ) 事業スケジュール

### 1. 区画内装工事の施工開始時期および施工期間

0期：2007年8月 内装工事開始（329区画／NPO屋台村）

――2008年3月末 竣工

1期：2008年4月 内装工事開始（312区画、314区画、315区画）

――2009年3月末 竣工

#### ◎区画内装工事について

内装工事は、実績のあるアーティストのディレクションのもと、建築系の大学や専門学校と協働する実習プロジェクトとして機能させ、学びの場とします。このことを通じて、大幅なコストダウンを図ることができます。アトリエ区画（3Fインナーモール）については、照明及び電気工事のみで稼働開始、内装等は入居者自身によるものとする。

### 2. 公益および収益事業開始時期

0期：2007年8月1日から、既存テナントにてスタート。

初年度、18区画入居予定。

年内に「子どもプロジェクト」「市民劇団プロジェクト」等稼働開始予定。

1期～2期：1期36区画、2期43区画の計79区画入居予定。

年間を通じ主催共催の各事業が展開される。

3期：43区画入居予定。

0期～3期合計140区画が入居予定。

年間を通じ主催共催の各事業が展開されるとともに、集大成の事業を展開予定。

#### ◎全体スケジュール（別紙7参照）

(1) 大阪市の各部局におかれまして、拠点性の必要な事業が新たに立ち上がってきた場合、積極的に受け入れたいと考えております。行政と民間の同居によって、より有機的に公共サービスを実施できる体制を産み出し、モデルケースをひとつでも多く産み出したいと考えるからです。例えば、コミュニティビジネスのインキュベーション施設などは、本提案の内容と大きく重なり合う部分があり、より多くの発展性が見込まれます。

(2) 運営をより有効にかつ円滑に行って行くには、国などからの補助金・助成金を獲得していくことも重要だと考えています。これには、大阪市との協働事業としての位置づけが必要な場合もあります。行政と民間がパートナーシップにより結ばれ、きめ細やかな市民サービスの実施は「新しい公共」の課題と思われれます。プロジェクト単位、あるいは本提案事業全般にかかる事業において、協働提案をさせていただいた場合、それにもっとも合致する担当部局のご紹介（マッチング）をお願いします。

(3) すでに本提案内で申し述べておりますが、上記2点を達成するために、本提案に折り込んでいる「事業推進協議会」の中に、大阪市経営企画室の方に参加していただきたいと考えています。本提案で目指し、また大阪市が目指す「創造都市・大阪」を実現するため、ぜひご参加をお願いいたします。

(4) 都心部での緑地の少なさは大阪の課題のひとつです。新世界地域には、公園はありません。フェスティバルゲートの立体駐車場の屋上を活用した、賃貸形式の菜園・庭園構想を持っていますが、水ハケの問題、加重の問題、植物を育成できるだけの土の厚みを作れるのかなど、精査した上での取組みとしたいと考えております。

## アートとソーシャル・インクルージョン

ソーシャル・インクルージョンとは、すべての人々が健康で文化的な生活を送るよう、人々を孤立や排除から救い、社会の構成員として包み込み、コミュニティの力を強化し支えあう社会目標であり、より積極的に誰もが共に生きる社会の創造をめざす概念です。異なる存在、多様な文化が共生する**インクルーシブ・ソサエティ**をつくっていくために、**アート**には大きな可能性があります。アートによって、一人ひとりがアイデンティティを捉えなおし、他者や社会とのつながりを取り戻すことができるからです。

フェスティバルゲートをアートとソーシャル・インクルージョンの拠点とし、**地域公共人材**を育成し、**官民協働の都市再生モデル**を創出し、安全で活気のあるまちとして**大阪**を国際的な**創造都市**へと転換します。

## アート&ソーシャル・インクルージョン

### — 創造的公益事業モデル創出事業 —

本提案は、アートの力を最大限に活用し、フェスティバルゲートを市民主体の実践の場として拠点化、さまざまなプロジェクトの実現を通じ、官民協働に向けた創造的公益事業モデルの創出（インキュベーション）を目的とします。近い将来、この場から創出されるさまざまなモデル群は、大阪市全域の都市問題の解決に寄与します。

クリエイティブな先端的アートが人々をエンパワメント

地域公共人材を育成・吸引し、地域の課題を解決、安全・賑わい・豊かな生活文化のあるまちに

インクルーシブ・ソサエティの実現に向けた公共事業モデルの創出拠点に

## フェスティバルゲートのにぎわい創出

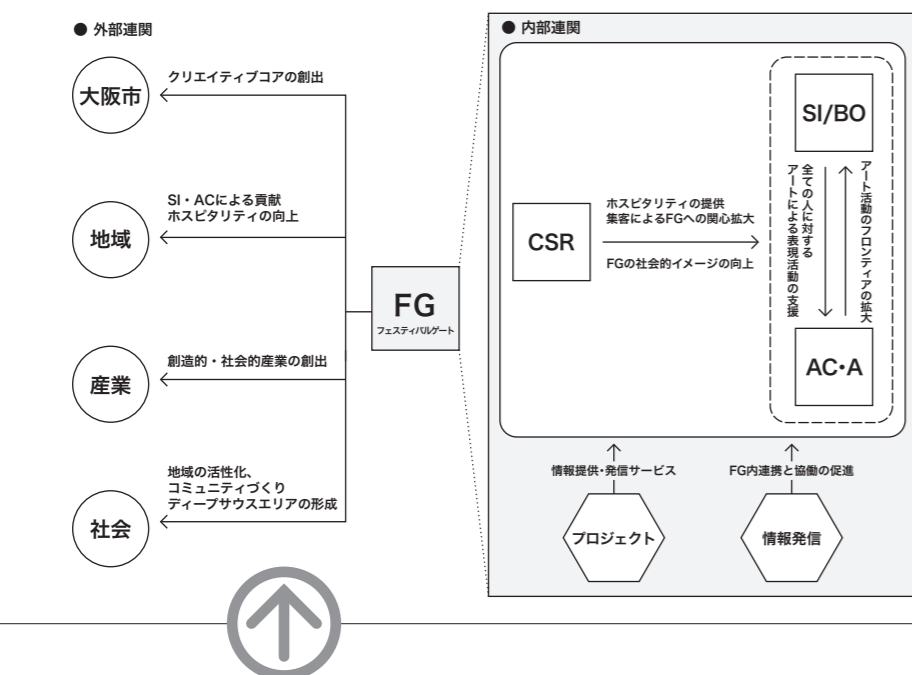
**下層階を中心に**入居者を増やし、にぎわいをつくりだし、**安全性**を確保し、徐々に使用する区画を増やしていきます。

現状有姿で活用する方法をとり、内装工事が必要な部分については建築を学ぶ学生や市民の参加を呼びかけ、工事自体を**学びの場**として整備します。

上層階などにある広大な区画は、その広さを活かし、プロジェクト推進事業によって、柔軟な手法による活用を行います。

フェスティバルゲートの活性化によって、市立動物園や市立美術館などの**文化資源ストック**とつなぎ、難波や天王寺・阿倍野、上町台地に至る都心**周辺部のライン**を顕在化させ、大阪都心**南部ディープ・サウスエリア**のにぎわいづくりに寄与します。

### 機能連関



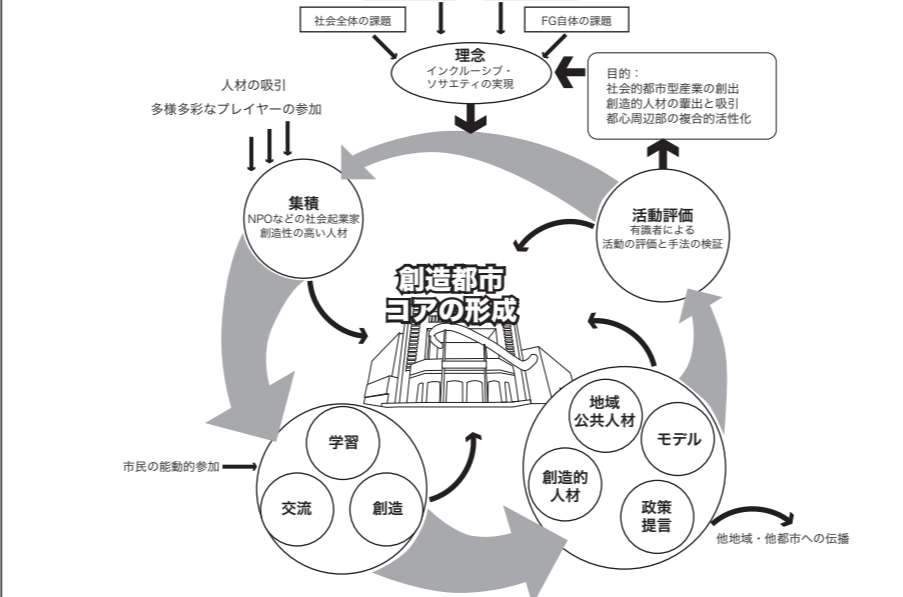
### ダイナミズムを生み出す活動連関

フェスティバルゲートにおける活動は**市民参加**を積極的に促します。事業の二つの柱となるソーシャル・インクルージョンとアートのNPOは相互にかかわり合い、有機的につながり、周辺地域の活性を促進します。

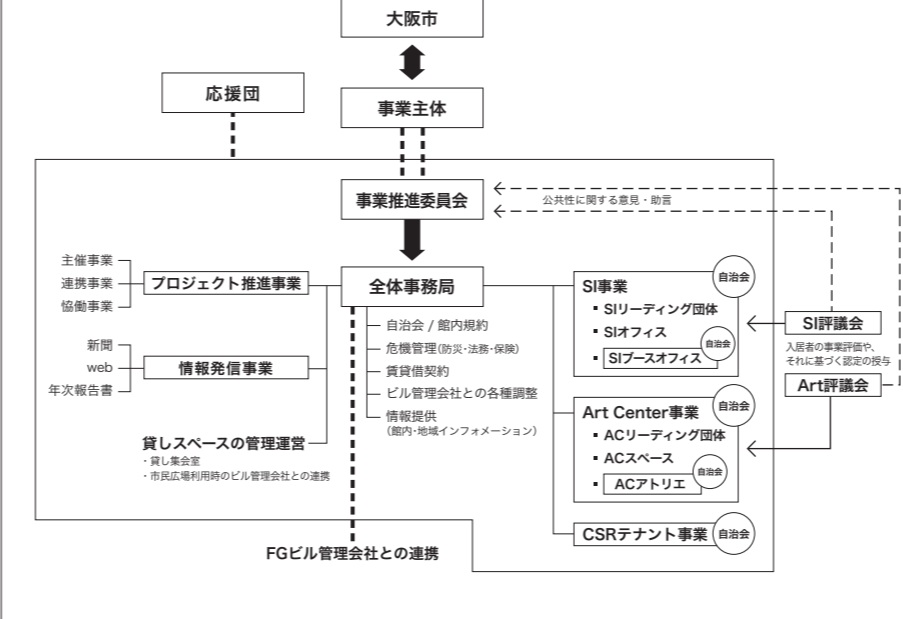
諸活動はフェスティバルゲートの内部にとどまらず、**地域、大阪**、**社会、産業**へとつながり、**ダイナミズム**を生み出します。

出店テナントは周辺地域も含めてホスピタリティの向上につとめ**社会貢献（CSR）**の責務を果たします。またソーシャル・インクルージョン事業から障がいを持つ人の雇用コーディネートを行い、企業の社会貢献を促進します。

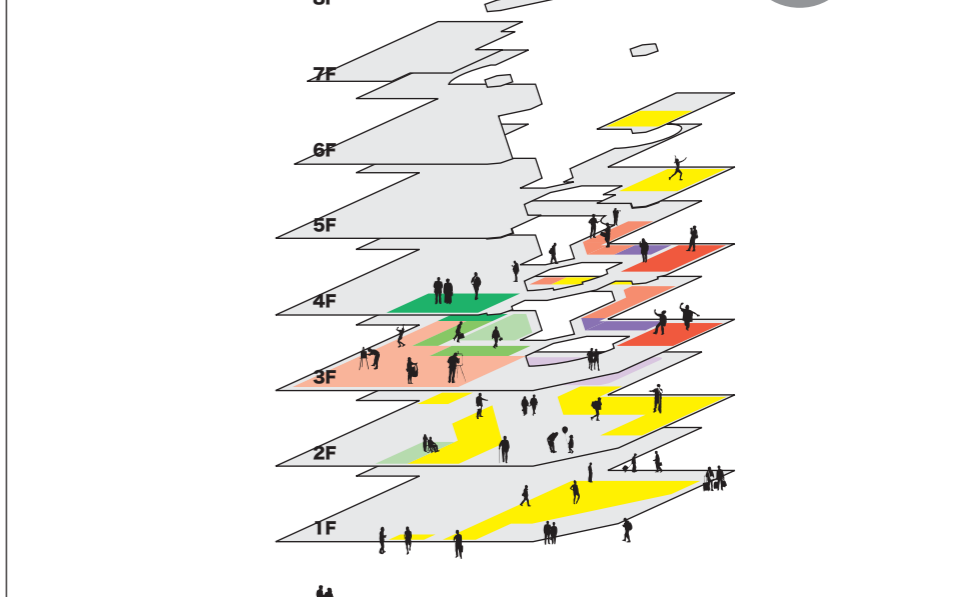
### 理念と目的



### 運営体制



### 施設構成



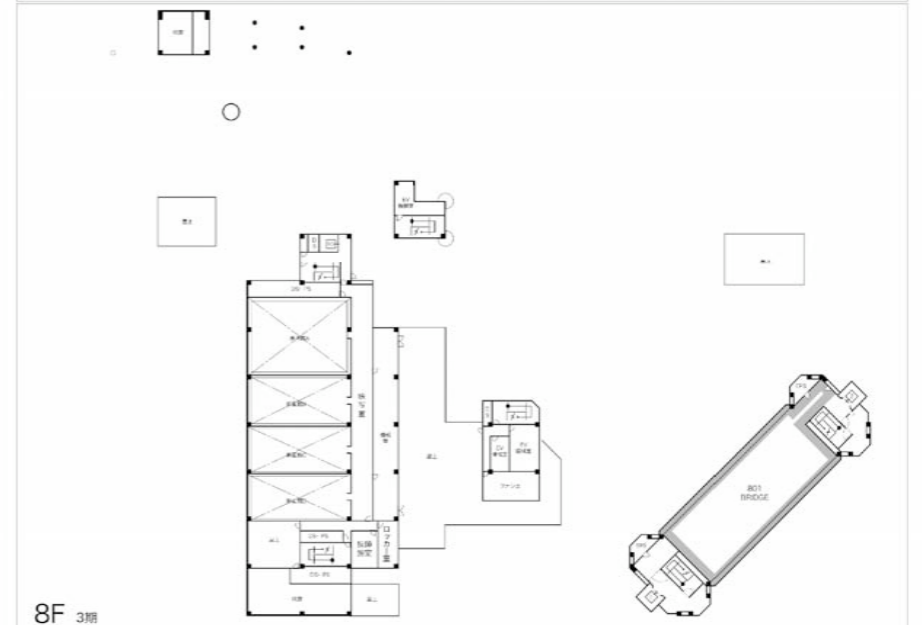
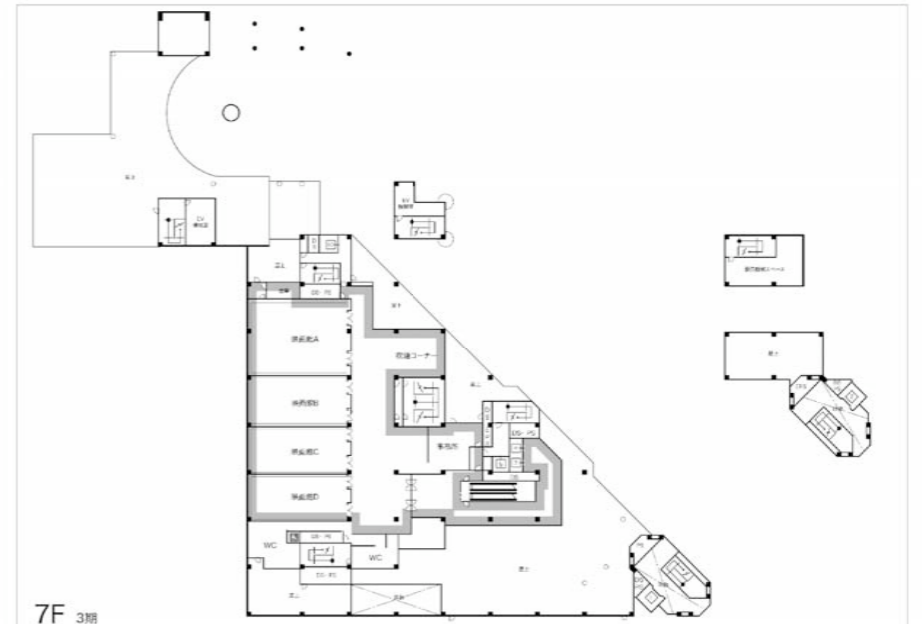
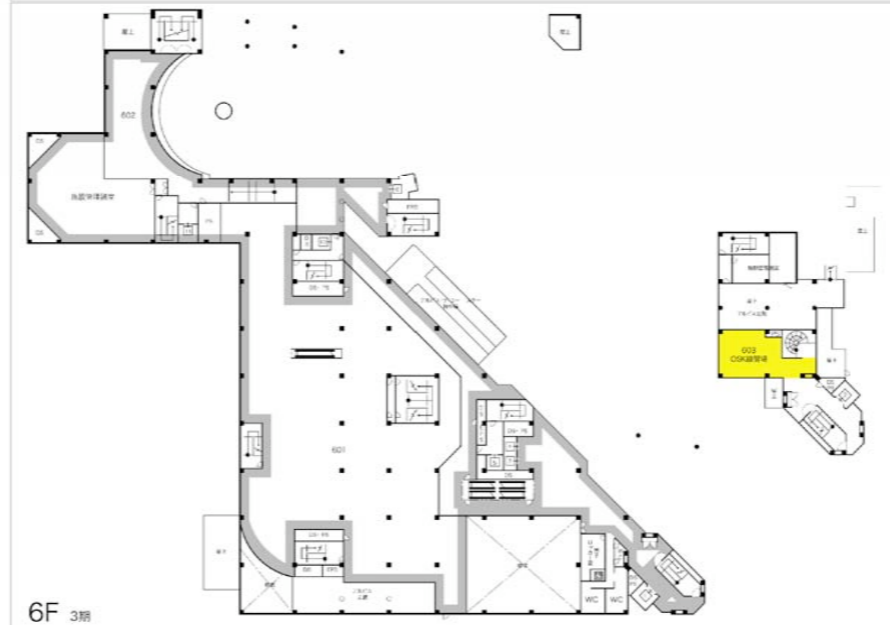
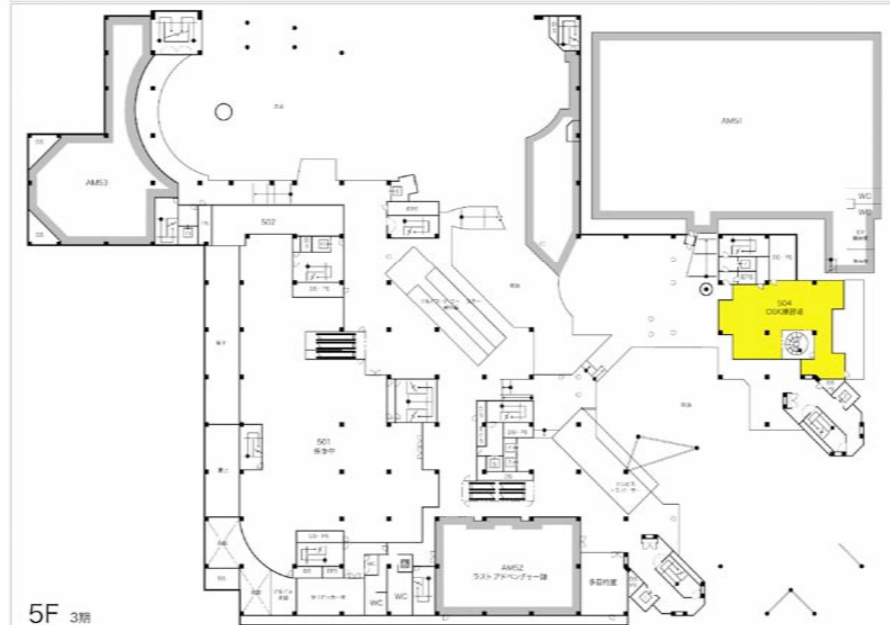
### 事業主体と意思決定機関(委員会)の関係

**事業推進委員会** 全体の運営を担う  
**評議会** 外部委員による事業の公共性を検証・維持する評価制度  
**事務局** 中間支援 入居者へのアドバイス / サポートを実施  
**応援団** 地域の団体・個人、各分野の有識者、実務者、有志など、本事業の目的と理念に同意する信頼を元とした人的ネットワーク

### 事業内容

**ソーシャル・インクルージョン(SI)事業** 公益性を有する活動  
**アート・センター(AC)事業** 芸術・文化を社会へと繋ぐ活動  
**プロジェクト推進事業** 賃貸収入を基金にした主催企画、市民が参加できる育成型プロジェクトを実施。SI・AC事業から提案される協働企画、外部団体によって実施される協力企画





凡例

| 区画色   | 略号 | 事業名          |
|---|----|--------------|
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #008000;"></span> | SL | SI事業リーディング団体 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #00FF00;"></span> | S  | SI事業         |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #90EE90;"></span> | BO | SI事業ブースオフィス  |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #FF0000;"></span> | AL | AC事業リーディング団体 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #FF4500;"></span> | A  | AC事業         |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #FF8C00;"></span> | AT | AC事業アトリエ     |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #FFFF00;"></span> | C  | CSRテナント      |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #800080;"></span> | Z  | 全体事務局        |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #00CED1;"></span> | U  | 工事中          |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 1px solid gray;"></span>    |    | 閉鎖しておく区域     |

スケジュール

|                       | 0期       |   |    | 1期   |    |   |   |   |   |   |   |   | 2期   |   |    |    |    |   |   |   |   | 3期   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
|-----------------------|----------|---|----|------|----|---|---|---|---|---|---|---|------|---|----|----|----|---|---|---|---|------|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|
|                       | 2007     |   |    | 2008 |    |   |   |   |   |   |   |   | 2009 |   |    |    |    |   |   |   |   | 2010 |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
|                       | 8        | 9 | 10 | 11   | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8    | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5    | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |
| <b>インフラ整備事業</b>       |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 区画工事                  | 1区画      |   |    | 3区画  |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| <b>ソフト事業</b>          |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| <b>プロジェクト推進事業</b>     |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 主催事業                  |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 新世界アートデカレ             | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| ビック益!                 | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 市民市場 (毎月1回開催)         | →        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 市民収穫祭                 | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| CSRショーケース             | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 国際交流フェスティバル           | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 子どもプロジェクト             | →        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 新世界市民劇団プロジェクト         | →        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 協働事業                  |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 近畿労働金庫「まちとアート」(仮称)    | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| インクルーシブデザインワークショップ    | ←        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| ソーシャルインクルージョンフォーラム    | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| アジアコンテンツリーグ・インフェスティバル | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| コンパ・リーグ・イン新世界         | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| Move on Asia          | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 仕事フォーラム               | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| アートによる防災イベント          | ●開催      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 協力事業                  |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| ふれあいコンサート             | ●参加協力    |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 日本橋フェスタ               | ●参加協力    |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 釜ヶ崎夏祭り                | ●参加協力    |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| <b>情報発信事業</b>         |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| ウェブ発信                 | ●開設      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 新世界日本橋経済新聞発刊          | ●発刊(1号)  |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| 新世界日本橋経済新聞発刊(特集号)     | ●発刊(特集号) |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| CSR報告書発刊              | ●発刊      |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| <b>活動支援事業</b>         |          |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| テナントリーシング部門           | →        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| テナントサポート部門            | →        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
| プロジェクトサポート部門          | →        |   |    |      |    |   |   |   |   |   |   |   |      |   |    |    |    |   |   |   |   |      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |